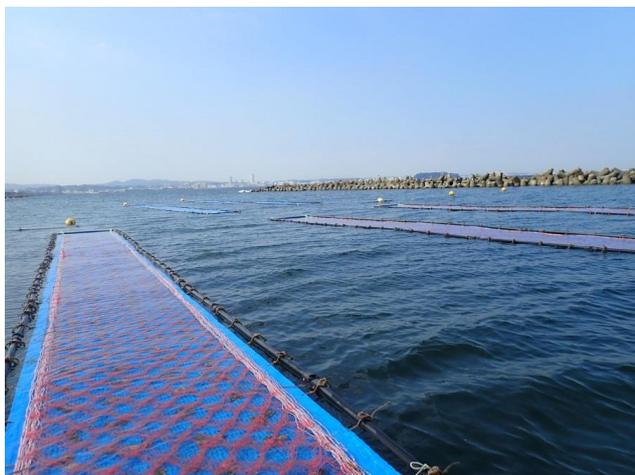


●浜の話題

- 10月5日、横須賀市東部漁協走水大津支所の菱倉丸さんにおいて、ノリの野外採苗が行われました。従来、ノリの採苗はこの方法（海上でカキ殻から放出された殻胞子をノリ網に付ける）で行われていたのですが、県内のノリ採苗方法は、気象の影響が少ない陸上採苗が主流になりつつあり、野外採苗による種付けは減少しています。



ノリの野外採苗の様子

- 10月6日、鎌倉漁協で、要試験研究要望にも挙げられている「養殖ワカメのアイゴ等による食害対策」の会合を開きました。当日は、木村組合長、三郎丸、龍翔丸、もんざ丸さん、資材の絡みで漁網店が参加し、効果的な食害防止ネットの設置等について協議しました。膨大な経費を費やす、養殖筏を囲う網地については、走水の良治丸さんをお願いし、古い海苔網をご厚意で提供頂けることになり、比較的安価で食害対策ネットを導入できることになりました。実際にもんざ丸さんの養殖筏で「ワカメ養殖防魚ネット」を試行し、効果があれば普及していきます。

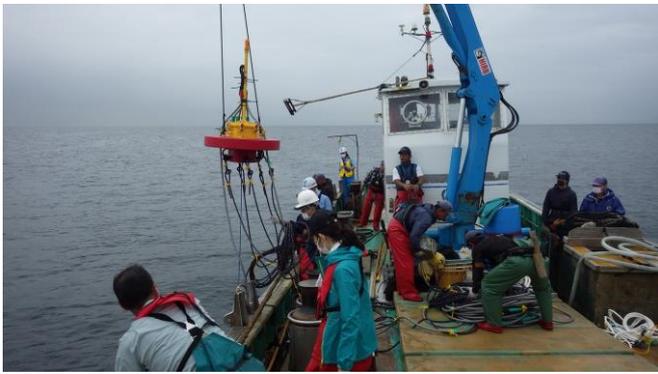


会合の様子



仕立て中の食害対策ネット

- 10月7日、水産技術センター相模湾試験場は、川長定置の協力のもと、定置網に入った魚種を判別するため、第1箱網にユビキタスプイを設置しました。ユビキタスプイに備え付けられている魚群探知機とタイムラプスカメラ画像を比較し、入網した魚を特定し、強化される資源管理に対応した定置網の効率的な操業手法を確立するためのものです。今後、来年3月まで継続して、試験が実施されます。



ユビキタスブイ設置



同 左

○ 各浜でサザエの種苗放流がありました。(一財)横須賀西部水産振興事業団が10月12日に長井町漁協で6千個、加えて漁協放流分3万個、26日に横須賀市大楠漁協で6千個、加えて漁協放流分1万個、(公財)相模湾水産振興事業団が、15日鎌倉漁協で15千個、21日には腰越漁協で15千個を、各浜の漁業者が放流しました。



長井町漁協(左)と鎌倉漁協(右)のサザエ種苗放流の様子

○ 10月13日、(一財)東京湾南部水産振興事業団は、横須賀市東部漁協浦賀久比里支所の組合員立会いのもと、水産技術センターにおいて生産したサザエ種苗(1万個 殻高25mm)を浦賀漁港地先に放流しました。サザエ種苗が横須賀市東部漁協の地先に放流されたのは5年ぶりになります。



サザエ種苗放流の様子

○ 相模湾試験場において令和3年度青年漁業士養成講座(一部WEB講義)が開催されました。10月18日には漁業技術コース、10月25日には漁業制度コースがそれぞれ開催され、青年漁業士候補者の3名の漁業者が受講しました。講義の内容は、定置研究、磯焼け対策、水産振興策、漁業関係法令、資源管理、漁港、マーケティングなど多岐に渡りましたが、受講者は最後まで熱心に受講していました。



受講風景

相模湾試験場施設見学

- 10月21日、三和漁協城ヶ島支所は水産技術センターが生産したサザエ種苗4万個（殻高約20mm）を島周辺の藻場に放流しました。これは8月23日に続く2回目の放流で、今年度は8万個の種苗を放流したこととなります。早いものは生後3年で漁獲サイズとなるようですので順調に成長することを期待したいと思います。
- 10月22日、平塚市漁業協同組合と相模川第二漁業協同組合は、合同で親うなぎの放流を行いました。親うなぎは、相模川と花水川河口に合計60kgを放流し、漁業者はしらすうなぎの漁獲が増えることを期待していました。
- 10月27日、横須賀市東部漁協浦賀久比里支所の組合員の立会いのもと、（一財）東京湾南部水産振興事業団と（公財）日本釣振興協会の合同で浦賀漁港内およびその周辺にカワハギ種苗（1万8千尾全長5cm）を放流しました。なお、これら種苗の一部には黄色のアンカータグを装着しています。タグを装着したカワハギを再捕された方は、水産技術センターまでご連絡ください。



浦賀漁港地先で行われたカワハギ種苗放流の様子

- 11月1日、2日の両日、三和漁協城ヶ島支所は磯焼け対策として島周辺の藻場、岩礁域でムラサキウニ、ガンガゼの駆除を行いました。2日間で延べ14名の漁業者が参加し、覗突（みづき）によりムラサキウニ1,839個、ガンガゼ1,567個を駆除しました。水産技術センターからも2名が参加し、水産技術センター前の岩礁で潜水によりムラサキウニ約800個、ガンガゼ約200個を駆除しました。参加した方からは両種とも増えている感じがするとの感想が多く聞かれ、駆除活動の重要性が改めて認識されました。



岩礁内のムラサキウニ



覗突（みづき）による駆除風景

- 11月4日、みうら漁業協同組合の「三崎黒潮キンメ」と長井町漁協が事務局を務める相模のとらふぐ延縄漁業者グループ 福会の「天然・釣物 相模のとらふぐ」が、新たなかながわブランド品として登録されました。11月11日には、黒岩知事より記者発表があり、11月21日18時~TVK「カナフルTV」で放映されます。両品目共に、冬場のこれからが旬の魚なので、ぜひご賞味ください。

カナフルTV ホームページ <https://www.tvk-yokohama.com/kanaful/>

「相模のとらふぐ」紹介ページ <http://jf-nagaimachi.info/free/torafugu-sagami>



新にかながわブランドに登録された「三崎黒潮キンメ」と「相模のとらふぐ」

●お知らせ

軽石関連情報について

令和3年8月に発生した海底火山「福徳岡ノ場」の噴火に伴い漂流している軽石が冷却水取入口に詰まって推進機関の冷却不良から損傷が生じたり、これにより航行に支障がきたされる事例が他県より報告されております。一方で、事前に冷却水のこし器等を点検し、機関の損傷を未然に防止した事例も報告されております。関連情報をご覧になり留意ください。

<軽石漂流関連の情報リンク集>

●軽石の現況

- 海上保安庁の軽石漂流情報 <https://www.kaiho.mlit.go.jp/info/topics/post-864.html>
- 第三管区海上保安部 HP <https://www.kaiho.mlit.go.jp/O3kanku/>
- 軽石の漂流等情報通知サービス 利用登録すると海上保安庁からメールで最新情報が送られるそうです。
<https://www7.kaiho.mlit.go.jp/micsmail/reg/touroku.html>

●軽石の動向予測や参考情報

- 海流予測モデルを利用した軽石漂流予測シミュレーション (JAMSTEC のHP)
http://www.jamstec.go.jp/j/jamstec_news/20211116/
- 衛星「しきさい」(GCOM-C) 等による軽石観測情報/JAXA 第一宇宙技術部門 HP
衛星画像の判読による軽石の推定分布図等 <https://earth.jaxa.jp/karuishi/>
- 福徳岡ノ場の軽石漂流の関連情報/気象庁 HP
関係地域の気象情報、海流予想図、潮位、衛星画像、火山の活動状況等
https://www.jma.go.jp/jma/menu/R03_karuishi-menu.html
- コラム【福徳岡ノ場の噴火 http://www.jamstec.go.jp/j/jamstec_news/fukutokuokanoba/
- 当県の海況情報 <http://kanagawapref.kansoku-data.net/>
- 海上保安庁 相模湾の表層の海水の動き
<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/oceanradar/currentsagami.html>

●推進機関の保守点検に係る情報

○日本船用機関整備協会（関係箇所：P10～14）

<http://www.mesa.or.jp/pdf/jikobosipamph.pdf>

○JCI 船外機（関係箇所：P3, P15, P17）

https://jci.go.jp/jikomannual/pdf/maintenance_outboard.pdf

○JCI 船内機・船内外機（関係箇所：P14, P17）

https://jci.go.jp/jikomannual/pdf/maintenance_inboard.pdf